

音楽

パイプオルガンワークショップ Vol.1

～あれこれ試そう！レジストレーションの可能性～

本学への申込み

東京純心大学 地域共創センター

042-692-0326

申込み期間

4月10日(月)～

4月28日(金)

講師	米沢(楠木)陽子(看護学科 客員教授)
開講日時	5月20日(土) 10:40～16:10 (途中昼食・休憩あり、学食が利用できます)
会場	東京純心大学(江角記念講堂)
内容	江角記念講堂には、パイプ数 2030 本、ストップ数 31 個のパイプオルガンがあります。オルガンは、ストップの選択によって、さまざまな表現が可能です。たとえ同じ曲であっても、解釈によって異なる音楽が生まれます。各ストップの音色の特色を学びながら、レジストレーションの基礎知識を一緒に学びましょう。今回はバロック時代のイタリアとドイツのオルガン作品を中心に扱います。 課題曲から 1～2 曲、自由曲 1 曲(3 分程度。長い曲の一部分でも可)をご用意ください。
対象	高校生以上
定員	実技 15 名 聴講定員なし 応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。 最少開催人数 7 名
受講料	実技受講 6,000 円 聴講 1,000 円
持ち物	筆記用具、課題曲、自由曲の楽譜

講師プロフィール

東京藝術大学大学院博士後期課程(古楽科バロックオルガン専攻)修了。博士号(音楽)取得。主たる研究領域は16～18世紀ドイツのオルガン音楽。カトリック山手教会、目黒教会オルガニスト。日本音楽学会、キリスト教礼拝音楽学会、日本オルガニスト協会、日本オルガン研究会会員。関東学院大学非常勤講師、立教大学キリスト教学研究科特任教授、東京純心大学客員教授。



講師からみなさまへ

もっと自由にオルガンを弾きたい、好きな曲を自分でレジストレーションを組んで弾けるようになりたい、そんなご希望をお持ちの方、どうぞご参加ください。課題曲は、①フレスコバルディ「主日のミサ」より、トッカータ、キリエ、②パッヘルベル《目覚めよ我が心》によるコラル変奏曲、③バッハ《我ら悩みの極みにあるとき》BWV640を予定しています。(実技受講者には事前に楽譜を送付します)